

René Lalique: Elegant French Decorative Art Carrying on the Work of Émile Gallé and the Daum Frères

ルネ・ラリック展

March 20 - June 14, 2026

9:30~17:30/Admission until 30 minutes before closing.
Closed on Mondays (except March 30, April 6, 27 and May 4), May 7

国立工芸館



ガレ、ドームから続く華麗なるフランスの
装飾美術



上 ルネ・ラリック《花瓶 オラン》1927年 井内コレクション(国立工芸館寄託) 撮影:品野望
下 ルネ・ラリック《ブローチ 翼のある風の精》1898年頃 国立工芸館蔵 撮影:エス・アンド・ティ・フォト
休 館 日 | 月曜日(ただし3月30日、4月6日、27日、5月4日は開館)、5月7日
開館時間 | 9:30~17:30(入館は閉館の30分前まで)
主催 国立工芸館 共催 北陸中日新聞 特別協力 井内コレクション

2026 3.20(金・祝)-6.14(日)

ルネ・ラリック展

RL

ガレ、ドームから続く華麗なるフランスの装飾美術

René Lalique: Elegant French Decorative Art Carrying on the Work of Émile Gallé and the Daum Frères



1



2



3

ルネ・ラリック(1860-1945)はジュエリーとガラスのふたつの分野で活躍したフランスの工芸作家です。19世紀末から20世紀前半、ヨーロッパではアール・ヌーヴォー、次いでアール・デコと呼ばれた美術様式が流行しました。ラリックは優美な曲線に彩られたジュエリーに始まり、ガラスの透明感や色彩を生かした花瓶や香水瓶、カーマスコットなど、この時代を映し出した数多くの作品を発表しました。本展では国立工芸館に寄託された井内コレクションのラリック作品を中心に、ラリックに先駆けて活躍したエミール・ガレ(1846-1904)やドーム兄弟(オーギュスト:1853-1909 / アントナン:1864-1930)など、同時代の工芸・デザイン作品もあわせてご紹介いたします。ラリックのジュエリーやガラス作品とともに、ガレやドームの優美なガラス、当時の家具やポスターなど、時代を彩った作品を一堂に会することで、華やかな時代の空気を感じていただけるでしょう。多彩なラリック作品と、フランスの装飾

美術の世界をお楽しみください。

関連トークイベント

「ラリックの革新—ガラス宝飾の魅力—」

ガラス宝飾の歴史からラリックの作品制作についてお話いただきます。
講師:土田ルリ子氏(富山市ガラス美術館長)
日時:3月28日(土)午後1時30分～午後3時
会場:国立工芸館多目的室
要予約(定員45名・要観覧券)

主催:兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会
・申込方法はウェブサイトをご確認ください。
・内容や日時は都合により変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

The French craftsman René Lalique (1860-1945) was active both in the fields of jewelry and glass. During the late 19th- and early 20th-century, Europe saw the rise of Art Nouveau followed by another artistic style known as Art Déco. Beginning with his elegantly curved jewelry, Lalique created countless works that reflected the times, including vases, perfume bottles, and car mascots, which made the most of transparent glass and vivid colors.

Drawn primarily from the Iuchi Collection (deposited at the National Crafts Museum), this exhibition presents pieces by some of Lalique's precursors, such as Émile Gallé (1846-1904) and the Daum Frères (Auguste, 1853-1909; and Antonin, 1864-1930) along with craft and design works of the same era. In addition to Lalique's jewelry and glass art, the exhibition includes exquisite glass works by Gallé and the Daums, and furniture and posters from the era to convey the atmosphere of this glorious time through a collection of epoch-defining pieces. Enjoy Lalique's diverse creations in tandem with the world of French decorative art.



4



5

1.ルネ・ラリック《立像 小首を傾ける女》1919年 2.ルネ・ラリック《花瓶 バッタ》制作年不詳 3.ルネ・ラリック《香水瓶 4匹のセミ》1910年 4.ドーム兄弟《カシワ文花瓶》1906年頃 5.エミール・ガレ《オダマキ文花瓶》1898-1904年頃 6.アルフォンス・ミュシャ《サラ・ベルナール》1896年
※1-3は井内コレクション(国立工芸館寄託)撮影:品野 登
※4-6は国立工芸館蔵
※4、5は撮影:エス・アンド・ティ フォト



6

観覧料 一般:¥1,200(¥1,100) 大学生:¥800(¥700) 高校生:¥500(¥400)

●()内は20名以上の団体料金および割引料金●いずれも消費税込●中学生以下、障害者手帳をご提示の方とその付添者(1名)は無料●MOMAT支援サークルパートナー企業(同伴者1名まで、シルバーパートナーは本人のみ)は無料●キャンパスメンバーズ、文化の森おでかけバスをお持ちの方は割引料金●北陸鉄道株式会社(北陸鉄道バス)「金沢市内1日フリー乗車券」を提示した方は乗車日に限り割引料金●石川県立美術館・金沢21世紀美術館・石川県立歴史博物館・石川県立伝統産業工芸館(いしかわ生活工芸ミュージアム)・金沢市立中村記念美術館の主催展覧会入場券半券を窓口で提示した方は割引料金

国立工芸館
National Crafts Museum

〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-2
お問合せ: 050-5541-8600(ハローダイヤル)
3-2 Dewa-machi, Kanazawa-shi, Ishikawa 920-0963
Information Service: 050-5541-8600



会期中のイベントなど詳細は当館HPをご覧ください
For More Information

www.momat.go.jp/craft-museum



アクセス

[バス] JR金沢駅兼六園口(東口)より乗車「広坂・21世紀美術館」下車徒歩7～9分または「出羽町」下車徒歩5分
[車] 北陸自動車道金沢西ICまたは金沢森本ICから20～30分
*近隣に文化施設共用駐車場(無料)があります。

MOMAT支援サークル:株式会社木下グループ、ラグジュアリーカード、株式会社三井住友銀行、ブルームバークL.P.、三井住友カード株式会社、三菱商事株式会社、大日本印刷株式会社、アバントグループ、株式会社オオバ、日本電子株式会社、丸沼芸術の森、アメリカン・インターナショナル・グループ・インク